アニメ・ゲーム・マンガ・芸能の仕事

ノートにはイラストがいっぱい!
ハマってるアニメやゲームがある
スポットライトを浴びるのが夢

アニメーター

テレビや映画などのアニメーション作品、CM、TVゲームやコンピュータゲーム、マルチメディアコンテンツなどに使われるアニメーションを作成する。

ポイント1 絵を描くのが好きな人向き
登場人物や背景を描く原画も、動きを一コマずつ描いていく動画も、いずれも手で仕上げるのでデッサン力が必要となる。

ポイント2 根気よく取り組むことが大切
かなりの枚数の絵を描く必要があり、綿切近くになると徹夜が続くことも多い。根気よく取り組むことが大切だ。

必要資格	**特に必要ない**が、漫画キャラクター検定・漫画技法検定・漫画ストーリー検定・漫画家アシスタント検定(特定非営利活動法人日本漫画能力検定協会)などを取得していると就職が有利に
勉強できる対象校	◎専門学校穴吹デザインカレッジ

ゲームクリエイター

ゲームプランナーが考えたアイデアを基に実際にゲームを作る。制作現場の管理やキャラクターの設定のほか、ゲームの動作などをコンピュータ言語で入力する役割も。

ポイント1 専門のスキルを活かせる
ゲーム機が高性能になってきたため、内容も複雑になっており、それぞれの専門スキルを活かしてチームで仕事をすることが多い。

ポイント2 好きなゲームに携われる
ゲーム人気は衰えることがないため、多くの人材が求められている。好きなゲームに携われるという喜びがある。

必要資格	**特に必要ない**が、基本情報技術者(国家資格)、C言語プログラミング能力認定試験(例:サーティファイ!)、CGクリエイター検定(映像情報教育振興協会)などを取得していると就職が有利に
勉強できる対象校	◎専門学校穴吹コンピュータカレッジ ◎四国総合ビジネス専門学校

漫画家

さまざまなジャンルの漫画雑誌などに漫画を描く。魅力的なストーリーとキャラクターを作り上げ、その絵を描くことが仕事だが、そこまで行けるのはごくわずか。

ポイント1 独自の世界観を表現できる
独自の世界観を表現できるのが魅力。そのためには読者に共感されるような漫画を描き、編集者に認めてもらうことが第一歩。

ポイント2 テクニックを活かした仕事も
自分の作品を描きながら有名漫画家のアシスタントになるなどの方法もある。書籍の挿絵やカット、イラストなどの仕事も。

必要資格	**特に必要ない**が、漫画キャラクター検定・漫画技法検定・漫画ストーリー検定・漫画家アシスタント検定(特定非営利活動法人日本漫画能力検定協会)などを取得していると就職が有利に
勉強できる対象校	◎専門学校穴吹デザインカレッジ

エンターテイナー

テレビや舞台で活躍する俳優や女優、タレントなど。才能やチャンスに恵まれることも重要だが、そのためにもダンスや発声などのスキルを身につけておくのが大切。

ポイント1 地道な努力をするのが大切
チャンスをつかんだ時に、自らの才能を開花させるためにも、地道な努力が必要。技術や知識を身につけておきたい。

ポイント2 スキルを活かして活躍できる
表舞台に立てるのは、ほんの一握りであっても、身につけたスキルや人脈を生かして裏方の仕事に就くなどの活躍ができる。

必要資格	**特に必要なし** テレビ・ラジオ、映画、舞台、音楽、芸術とさまざまなジャンルがある
勉強できる対象校	学校に限定なし

他には ◎CGクリエイター ◎ゲームプランナー ◎キャラクターデザイナー ◎サウンドクリエイター など

卒業生へ質問! 職業のホンネの話

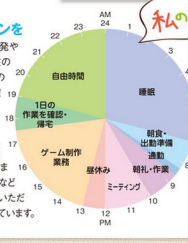
株式会社トーセ 勤務
ゲームクリエイター
谷原 大樹さん

「論理的思考」の重要性を日々実感中

中学時代からゲームにハマり、中3の時にはもうパソコンでプログラムを作るように。ソフトウエア開発に関わる仕事に就きたいと思い、必要な知識を身につけ、資格を取得できるような専門学校を探しました。実際、仕事に就いてから、プログラミングやサーバーデータベース設計などの実習はとても役立っています。また、在学中に先生に教えてもらった「論理的思考」がどれほど重要か、働くなかで日々実感しています。

プロジェクトの一員としてコミュニケーションを

育成ゲームの要素を兼ね備えた、携帯ソーシャルゲームの開発やモバイルサイトの新規コンテンツ制作などを行っています。現在のプロジェクトは、総勢20名ほどのチームのため、プロジェクトの全体ミーティングで現在の進捗報告と未決定事項などを確認しつつ進め、不明点はコーディネーターに確認するなど、コミュニケーション力の重要性を感じます。

ユーザーの生の反応に責任とやりがいを感じる

自分が携わったゲームやコンテンツが世の中に出て、「ハマりました」「いつも遊んでいます」といったユーザーの声をツイッターなどで目にすることも多くなってきました。多数のユーザーに遊びていただくという、その責任の重さを痛感しながらもとてもやりがいを感じています。